

STOP 地球温暖化

ストップ!



夏の厳しい暑さ… 冬なのに暖かい日が多い… 地球温暖化の影響?

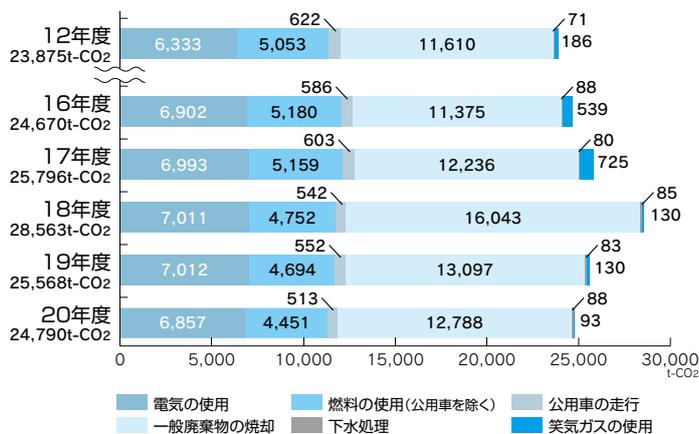
1990年代に入り、地球温暖化が人類をはじめとする生物界全体に深刻な問題をもたらすことが指摘され始めました。わが国では、平成9年12月に開催された「気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)」で採択された「京都議定書」に基づき、平成24年までに平成2年に比べ6%の温室効果ガスを削減する目標が定められ、いよいよ国の本格的な対策と、私たち一人一人の意識向上が求められる時期となりました。

市では、平成11年の「地球温暖化対策の推進に関する法律」の施行を受け、平成14年に「土岐市地球温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

今回は、市の平成20年度温室効果ガス総排出量の結果をお知らせするとともに、私たちにできる身近な地球温暖化対策を紹介します。

土岐市の事務・事業に伴う排出量

活動別年間排出量の変化



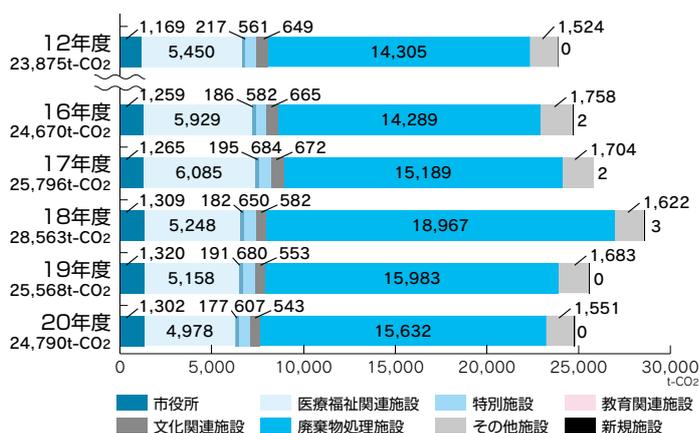
土岐市地球温暖化対策実行計画は、京都議定書における日本の目標値に倣い、市の基準年である平成12年度比で12%削減を目標としています。*

平成20年度温室効果ガス総排出量は、24,790t-CO₂(二酸化炭素換算値)で、20年度目標数値である21,891t-CO₂に対して13.2%増加しているという、大変苦しい結果となりました。

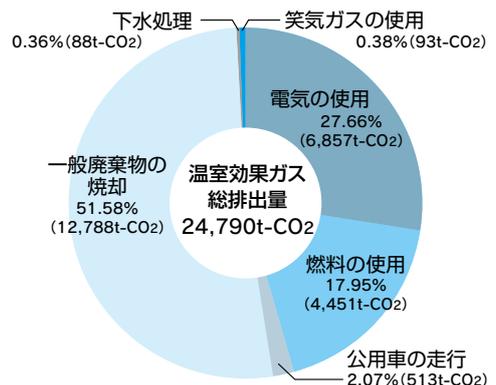
今後も目標達成のため、節電や省エネなど、さらなる努力を続けます。

※市では、平成11年度以前の排出量を把握していないため、平成12年度を基準値とし、平成12年度比6%削減の排出量を平成2年度レベルの排出量とし、さらに6%削減すれば、国の目標と同等の削減になるとしています。

施設別年間排出量の変化



平成20年度 温室効果ガス総排出量



ごみの減量に ご協力ください



平成20年度の、市の事務・事業に伴うCO₂排出量のうち、市内の家庭ごみなど「一般廃棄物の焼却」により発生するCO₂は12,788tで、全体の約52%を占めています。これを市民プールで換算すると…約4,568杯分になります。

CO₂削減のためには、市民の皆さん一人一人が、ごみの減量に取り組むことが大切です。

※市民プール1,425m³=50m×8コース×水深1.5m、排出量1t=509m³として換算しています。



ごみ減量のキーワード

3R

(スリーアール)

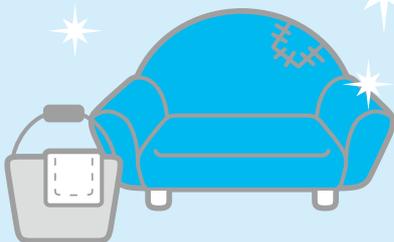
3Rとは **R**educe (リデュース)
Reuse (リユース)
Recycle (リサイクル)

の3つの単語の頭文字をとったものです。

Reuse

繰り返し使う (リユース)

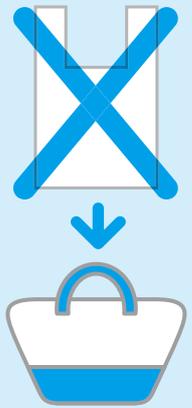
- 1 ほとんど使い切る
古くなった物でも、使える物は修理や掃除をして使いましょう。
- 2 必要とする人に譲る
要らなくなった物は、リサイクルショップの活用など、必要とする人に譲りましょう。
- 3 別の用途で活用する
古新聞を窓ガラスふきに、広告チラシをメモ帳代わりに、お茶殻やコーヒーかすは消臭剤にするなど、工夫して活用しましょう。



Reduce

根本からごみを減らす (リデュース)

- 1 買う前に考える
本当に必要なものか、代用やレンタルができないか、長期間使えるかなど、買う前にしっかり確認しましょう。
- 2 環境に優しい物を選ぶ
使い捨て商品はなるべく控え、詰め替え可能な商品、エコマークやグリーンマークなどが付いた商品など、環境に優しい商品を選びましょう。
- 3 ごみを増やすような物は断る
買い物にはマイバックを持参し、過剰な包装は断りましょう。



Recycle

分別し再生利用する (リサイクル)

- 1 分ければ資源、混ぜればごみ
紙、缶、ペットボトルなどの資源は、きちんと分別すればリサイクルされ、新たな資源として生まれ変わることができます。
- 2 リサイクルのメリット
ごみの発生量の減少、埋め立て処分場の延命、処理費用の削減になります。また、リサイクル原料から製品を作ることで、エネルギーを大幅に節約できます。





土岐市の
ごみ減量の取り組み **その1**
レジ袋有料化

マイバックを持って買い物に出掛けよう



どうして有料化したの？

昨年10月1日から、レジ袋削減(有料化)の取り組みが、東濃地域5市のスーパーマーケット、ドラッグストアなどの協賛店で始まりました。レジ袋の削減は、市民の皆さん・事業者・行政の3者が、それぞれの立場でできるごみ減量の取り組みとして、全国的に広がりをみせています。

この取り組みは、地域全体の環境問題への意識を高め、ごみの減量が推進され、CO₂の削減、石油資源の節減となり、地球温暖化防止対策につながります。



取り組みの結果は？

「東濃地域におけるレジ袋大幅削減に向けた取組みに関する協定書」では、レジ袋辞退率(レジ袋お断り率)80%を目標としました。有料化が始まった昨年10月から今年3月までの集計結果は…



レジ袋辞退率 **92%**

(市内参加店舗の半年間の平均値)

※(店舗全体客数-レジ袋購入客数)÷店舗全体客数として算定

レジ袋約276万枚の削減ができました!



CO₂

約**138t**

※レジ袋1枚(製造から廃棄まで)のCO₂削減効果→約50g

ごみ

約**22t**

※レジ袋1枚の重量→約8g

原油

約**50.5kl**

※レジ袋1枚を作るのに必要な原油の量→約18.3ml



マイバック買い物マナー

- マイバックは、折り畳んだまま買い物をしましょう。
- 買い物には、店に備え付けの買い物カゴを使いましょう。
- マイバックは、レジ袋の代わりです。マイバックは、レジに着いてから使いましょう。
- 車の中、かばんの中、いつでも、どこでもマイバックを忘れないようにしましょう。





ペットボトルのキャップで 世界の子どもにワクチンを届けよう

ペットボトルのキャップは、リサイクルして再びプラスチック製品にすることが出来ますが、ごみとして燃やしてしまえば、CO₂の発生源となります。そこで、ペットボトルのキャップを集めてリサイクル業者に売却し、その利益をワクチンの購入代金に充て、世界の子どもたちにワクチンを届けようという取り組みが全国的に広まっています。

市内の小中学校や保育園、幼稚園などでは、以前からペットボトルのキャップを回収し、ワクチン寄贈団体に送る活動が行われてきました。市もその活動に賛同し、地球温暖化防止と世界の子どもにワクチンを届けるために、平成21年2月からペットボトルのキャップ(エコキャップ)回収事業を実施しています。

各施設のエコキャップ回収実績(平成21年2月5日~3月末まで)

施設名	回収量(Kg)	ワクチン(人分)	CO ₂ 削減量(Kg)
土岐市	240.5	144	758
土岐津保育園	44.5	27	140
下石幼稚園	45.5	27	143
駄知小学校	27.9	17	88
泉小学校	247.0	148	778
泉西小学校	32.5	19	102
駄知中学校	92.0	55	290
肥田中学校	218.0	131	687
泉中学校	65.0	39	205
合計	1,012.9	607	3,191

※ワクチンはポリオワクチン(20円)で計算しています。

※キャップは約400個で1kgとなり、焼却により約3,150gのCO₂が発生します。

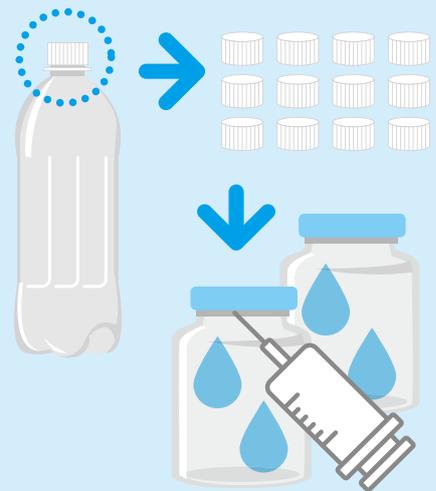
※ワクチン(人分)、CO₂削減量(Kg)は概算です。

3月末までに集められたエコキャップは、607人分のポリオワクチン代になりました。この代金は「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に寄附され、UNICEF(ユニセフ)を通じて世界の子供たちにワクチンとして届けられます。

今後もペットボトルキャップの回収にご協力をお願いします!!

キャップ回収についてお願い

- 値札やキャンペーンなどのシールをはがしてください。
- 飲料用ペットボトルのキャップが対象です。(調味料、洗剤などのキャップは回収できません)
- 汚れたキャップは洗ってください。
- 回収箱にキャップ以外の物を入れないでください。



市役所玄関ホールに設置した回収箱

地球温暖化についてもっと知りたいときは →

環境省 HP(ホームページ)

<http://www.env.go.jp/>

全国地球温暖化防止活動推進センター HP

<http://www.jccca.org/>

我が家の環境大臣 HP

<http://www.eco-family.go.jp/index.html>

チーム・マイナス6% HP

<http://www.team-6.jp/>

詳しくは、環境課(内線251)へどうぞ。